

人権だより



新しい学年が始まり、約一か月がたとうとしています。新しいクラスや先生、部活動などに少しずつ慣れてきたという人もいれば、まだ緊張や不安を感じている人もいるかもしれません。期待と同時に戸惑いも感じやすいのが、4月という時期です。

このような新しい環境の中で、学校生活を楽しく充実したものにするために大切なのが、人と人との関係です。友達やクラスメイト、部活動の仲間との関わり方は、毎日の学校生活に大きな影響を与えます。安心して過ごせる雰囲気のあるクラスや集団は、一人一人が互いを大切にしようことでつくられていきます。

1 4月の人権等に関する各種記念日について

2日	世界自閉症啓発デー 国連が制定。自閉症への正しい理解と、差別や偏見の解消、包摂的社会の実現を目的としています。
2日～8日	発達障害啓発週間（日本） 発達障害のある人の人権尊重と社会参加促進を目的にした啓発週間。 世界自閉症啓発デーと連動して実施されます。
5日	良心の国際デー 平和・人権・自由・正義を支える「良心」の重要性を確認する日。 世界人権宣言にも基づく理念と深く結びついています。
7日	世界保健デー（World Health Day） 健康に生きることは「人権」の一部という考え方に基づく国際デー。 医療への公平なアクセスや健康格差の是正がテーマになります。
7日	1994年のルワンダにおけるジェノサイドを考える国際デー 深刻な人権侵害の歴史を忘れず、再発防止を誓う日。 差別・憎悪が人権を破壊する危険性を学ぶ機会です。
1日～30日	若年層の性暴力被害予防月間（日本） 若者の尊厳・身体の自己決定権を守ることを目的とした啓発月間。 性暴力や性犯罪の防止は重要な人権課題です。
22日	国際母なる地球デー（国際マザー・アースデイ） 環境問題と人権（環境権・将来世代の権利）の結びつきを考える日。
23日	世界図書・著作権デー 読む権利、学ぶ権利、表現の自由と関係する国際デー。

2 よりよい人間関係をつくるために

新しい年度の始めに教室に掲示されるこのメッセージには、高校生活を安心して前向きに過ごすための大切な考え方が示されています。人間関係が良好であれば、学校生活は自然と楽しくなり、学習や部活動への意欲も高まり、良い結果につながります。多くの人間関係のトラブルは、次の三つのポイントと深く関係しています。

① 人の悪口を言わず、良さを伝える

相手の気持ちを考えない言葉は、人を深く傷つけます。本当に自信のある人は、他人をおとしめる必要はありません。

他人と比べて落ち込むよりも、昨日より成長した自分を目指し、仲間の良さを素直に言葉にすることで、信頼や絆が生まれます。

② うそをつかず、「ありがとう」を大切にする

うそやごまかしは、一時的に自分を守れるように見えても、やがて信頼を失う原因になります。

また、「ありがとう」という言葉には、人と人の心を近づける力があります。小さな感謝を言葉にすることが、人間関係を温かいものにします。

③ 自分の責任を果たす

掃除や係の仕事、約束事など、自分の役割を果たすことは、相手への思いやりです。

「誰かがやってくれるだろう」という気持ちは、周囲の負担となり、信頼を失う原因になります。

人権とは、「一人ひとりが大切にされ、尊重されること」です。

日々の小さな行動の積み重ねが、人権を守り、誰もが安心して過ごせる学校生活につながっていきます。

最後に、今回の「人権だより」を読んだ感想を書いてください。

年 組 番 名前

この文章を読んで、思ったこと、感じたこと、考えたことを書いてみましょう。

人権・平和教育課

友だちとよりよい関係をつくるために
私が私を好きになるために

○人の悪口を言わず、
その人の良さを伝えよう。

○信頼を築くには、ウソを言わ
ない。ありがとうを言おう。

○自分の責任を果たそう。

この三原則を守ろう

担任の先生に提出してください。